

令和5年度公立高等学校における教育課程の編成・実施状況調査の結果の概要

1. 調査内容

(1) 調査対象

公立高等学校及び中等教育学校後期課程のうち、無作為抽出した1240校の令和5年度の計画について

(2) 調査手法

Web回答フォームによる回答

(3) 調査期間

令和5年12月25日（月）～令和6年1月26日（金）

2. 調査結果の概要

○卒業に必要な修得単位数、履修単位数の状況

※（ ）内は前回（平成27年度）の調査結果

令和5年度入学者に卒業までに修得させる単位数について、学習指導要領に定める最低基準である74単位を超えて設定している学校の割合は、

- ・全日制課程の普通科等において 65.9%（75.5%）
- ・同専門学科において 72.6%（80.0%）
- ・同総合学科において 46.3%（42.6%）

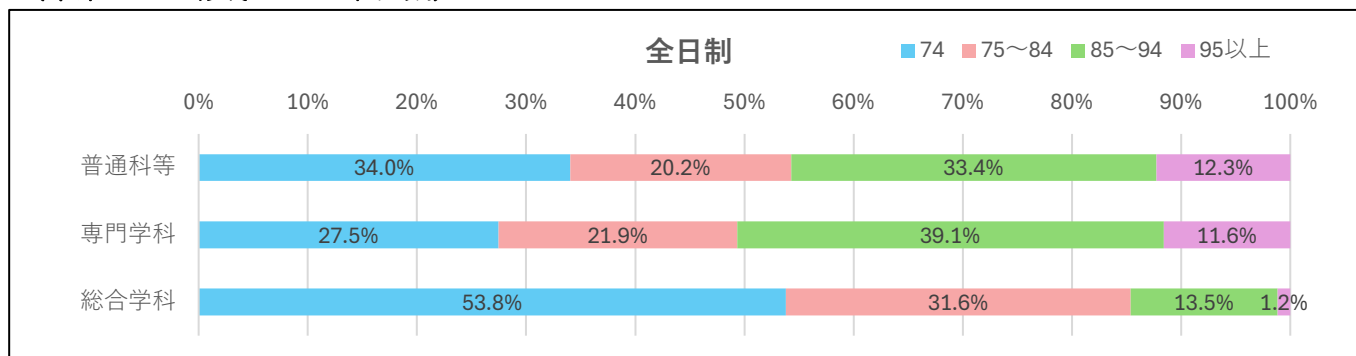
である。

また、令和5年度入学者に卒業までに履修させる単位数について、学習指導要領に定める最低基準である74単位を超えて設定している学校の割合は、

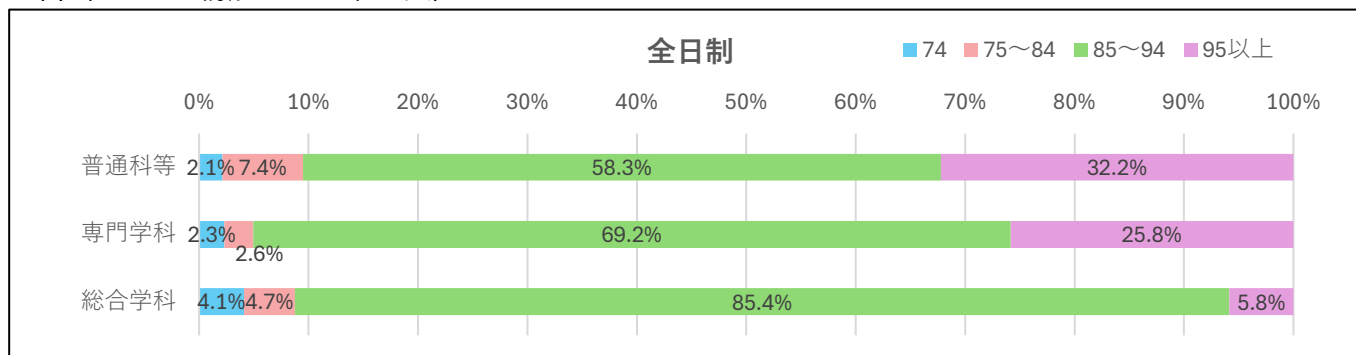
- ・全日制課程の普通科等において 97.9%（98.4%）
- ・同専門学科において 97.6%（98.5%）
- ・同総合学科において 95.9%（91.5%）

である。

（卒業までに修得させる単位数）



（卒業までに履修させる単位数）



○週あたりの授業時数の状況

※（ ）内は前回（平成27年度）の調査結果

令和5年度入学者の今年度の週あたりの授業時数については、30～32単位時間と設定している学校の割合が最も高く、

- ・全日制課程の普通科等において 72.4%（69.2%）
- ・同専門学科において 73.8%（80.9%）
- ・同総合学科において 79.5%（83.6%）

である。

なお、週あたりの授業時数が33時間以上の学校の割合は、

- ・全日制課程の普通科等において 24.2%（25.6%）
- ・同専門学科において 17.8%（8.5%）
- ・同総合学科において 6.4%（6.6%）

である。

